

# 2018年卒 採用活動の感触等に関する 緊急企業調査

2017年4月

株式会社ディスコ キャリタスリサーチ

**DISCO**

はたらくを、もっと豊かに。

# 調査概要

## <調査趣旨>

学生優位の売り手市場が続く新卒採用。前年同様短期間の採用広報期間の中で、企業がどのように採用活動を展開していくのか注目が集まっています。

そこで、株式会社ディスコでは、採用広報開始から約1カ月時点の、採用活動の現状や感触を緊急調査しました。

## <調査概要>

- 調査対象 : 全国の主要企業 17,015社
- 調査時期 : 2017年3月27日～30日
- 調査方法 : インターネット調査法
- 回答社数 : 2018年度の新卒採用を予定している企業 670社

### <<従業員数>>

| 300人未満 | 300～999人 | 1000人以上 |
|--------|----------|---------|
| 265社   | 230社     | 175社    |

### <<業界>>

| メーカー | 商社・流通 | 金融  | IT、情報処理 | サービス、その他 |
|------|-------|-----|---------|----------|
| 247社 | 121社  | 35社 | 112社    | 155社     |

### <<株式>>

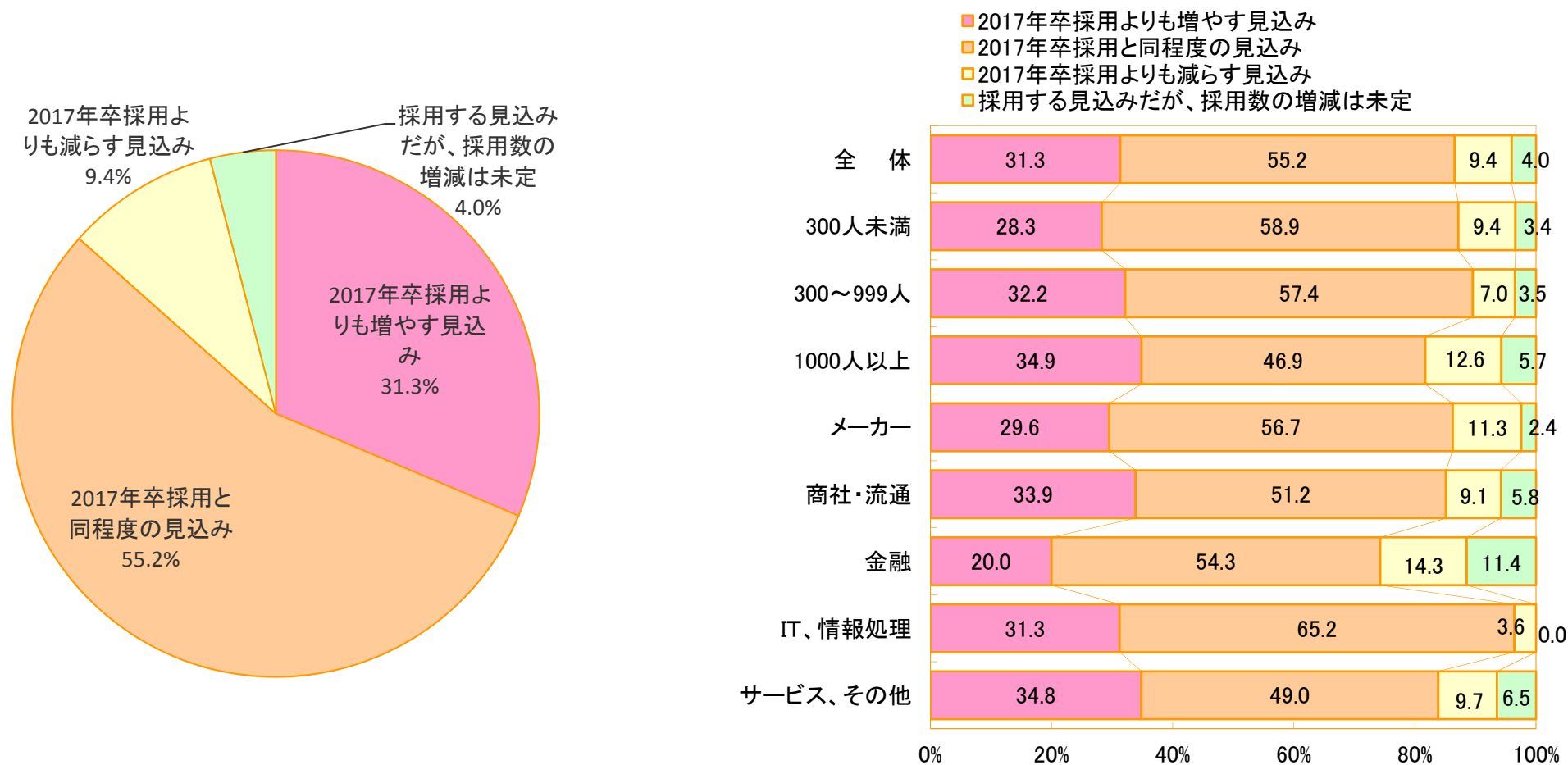
| 上場   | 非上場  |
|------|------|
| 145社 | 525社 |

## <目次>

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1 2018年卒採用見込み                   | P3  |
| 2 現時点での採用活動の感触                  | P4  |
| 3 現時点での学生の反応(前年との比較)            | P5  |
| 4 母集団形成状況(想定との比較)               | P7  |
| 5 選考(面接)開始時期                    | P8  |
| 6 自社採用活動への危機感                   | P11 |
| 7 追加母集団形成の予定                    | P12 |
| 【VOICE】                         | P13 |
| 【参考】                            |     |
| プレ期施策の実施状況(18年卒向け)／検討状況(19年卒向け) | P14 |
| インターンシップの採用母集団形成への効果            | P15 |
| 現時点での採用活動の感触 <プレ期広報有無別>         | P16 |

## 2018年卒採用見込み

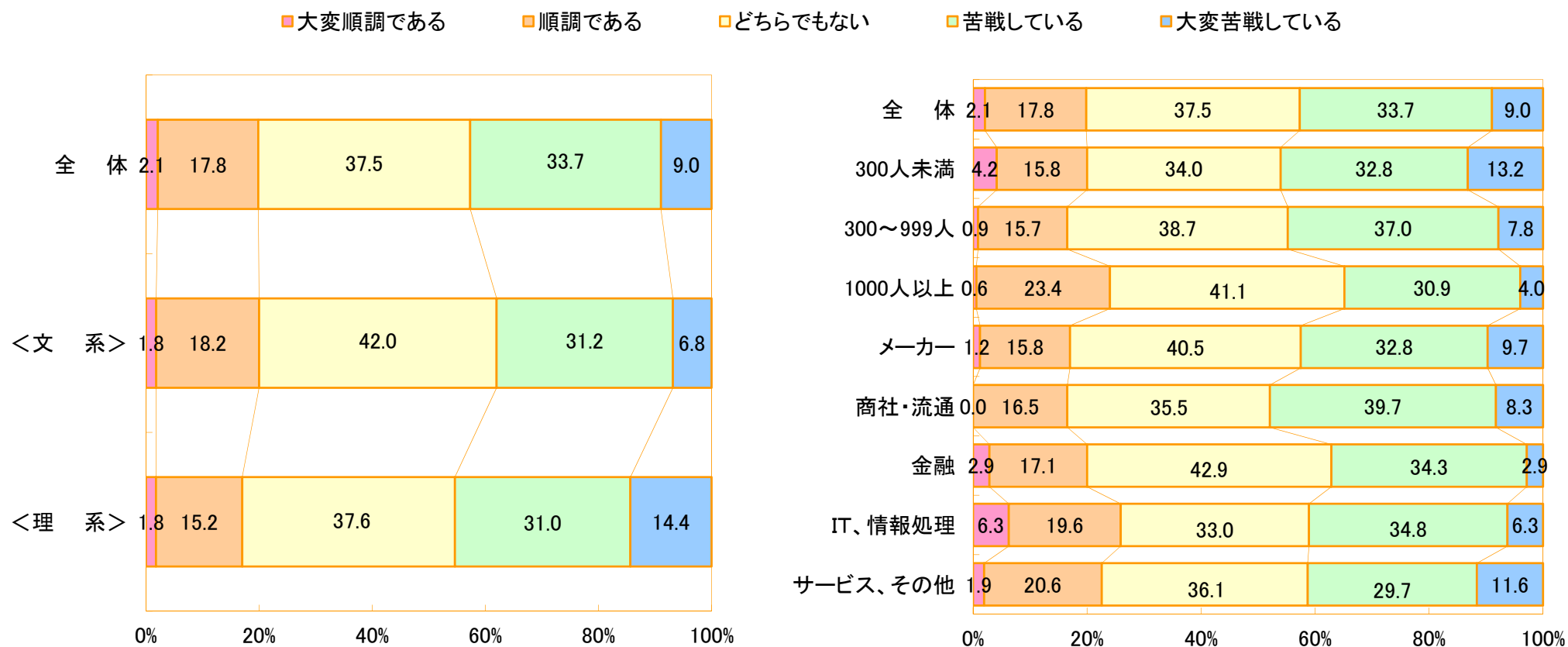
- 2017年卒採用よりも「増やす」31.3%、「減らす」9.4%で、増加傾向が鮮明。
- 「増やす」が多いのは、従業員「1000人以上」(34.9%)の大手。業界では「サービス、その他」(34.8%)。



Q 「2018年3月卒業予定者」の採用見込みをご回答ください。

## 現時点での採用活動の感触

- 現時点での採用活動の感触は「苦戦」(計42.7%)が、「順調」(計19.9%)の2倍以上。
- 特に理系の「苦戦」傾向が強い(計45.4%)。
- 従業員別では「300人未満」(計46.0%)、業界別では「商社・流通」が最も「苦戦」が多い(計48.0%)。

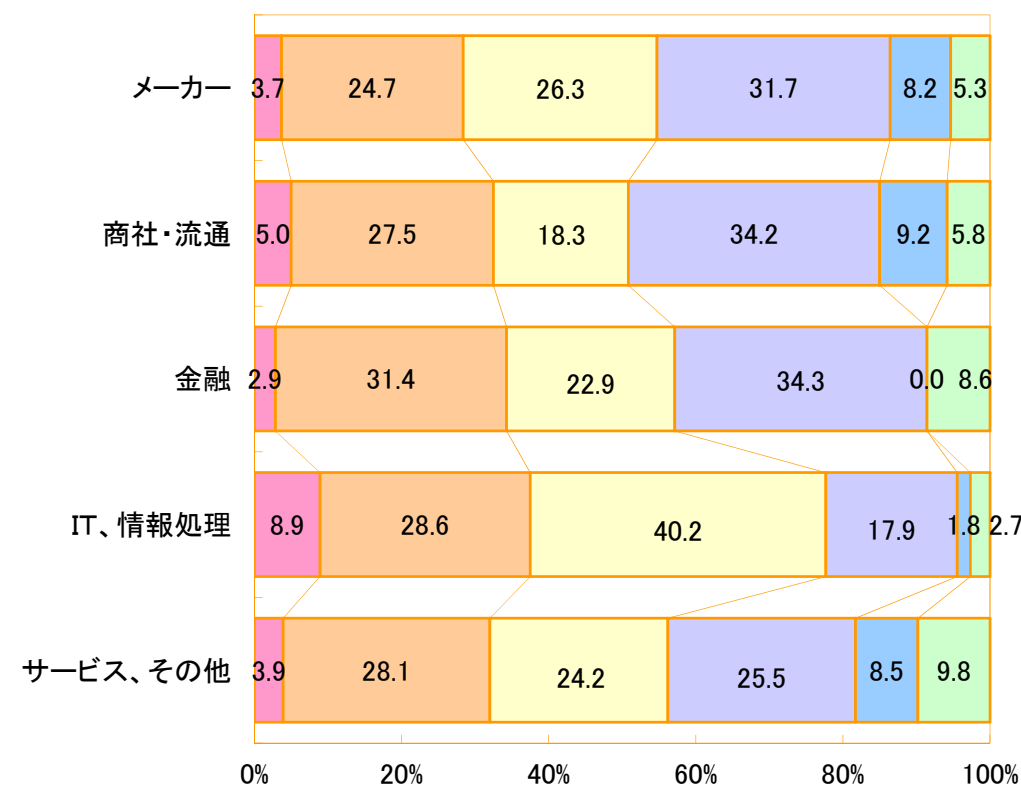
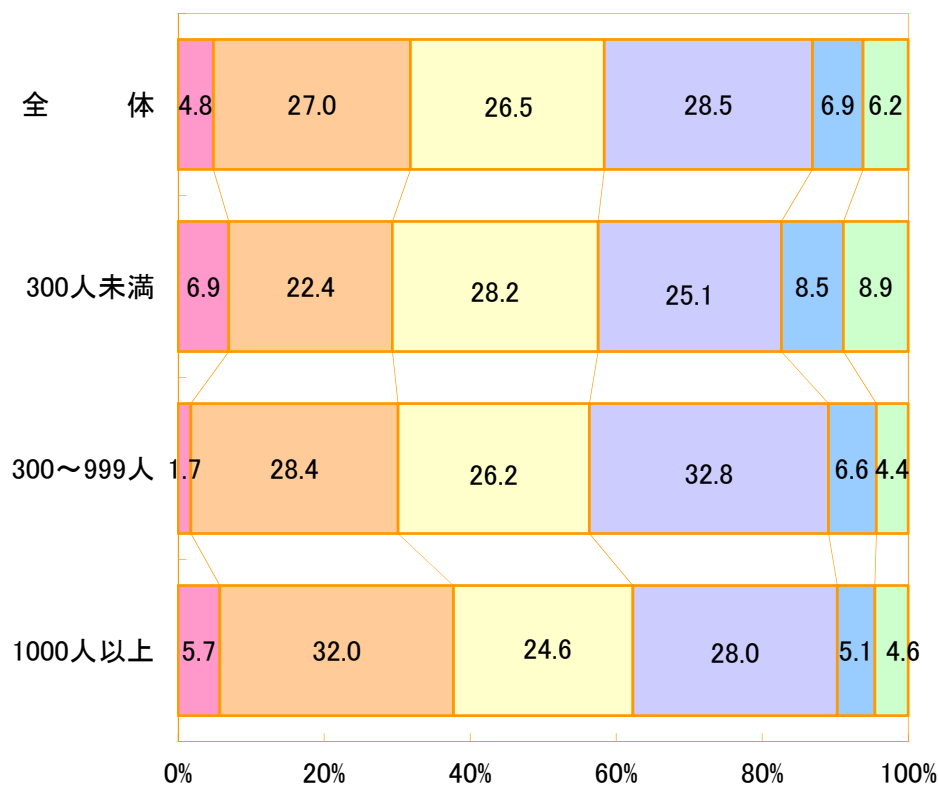


Q 現時点で、貴社の採用活動の感触はいかがですか。

# 現時点での学生の反応(前年との比較) <エントリー数>

- 前年よりエントリー数が「増えた」(計31.8%)と「減った」(計35.4%)が3.6ポイント差で拮抗。
- 業界により差があり、「IT、情報処理」では「増えた」(計37.5%)が「減った」(計19.7%)を大きく上回る(17.8ポイント差)。

■ 大幅に増えた   
 ■ 増えた   
 ■ 変化なし   
 ■ 減った   
 ■ 大幅に減った   
 ■ まだ実施していない／わからない

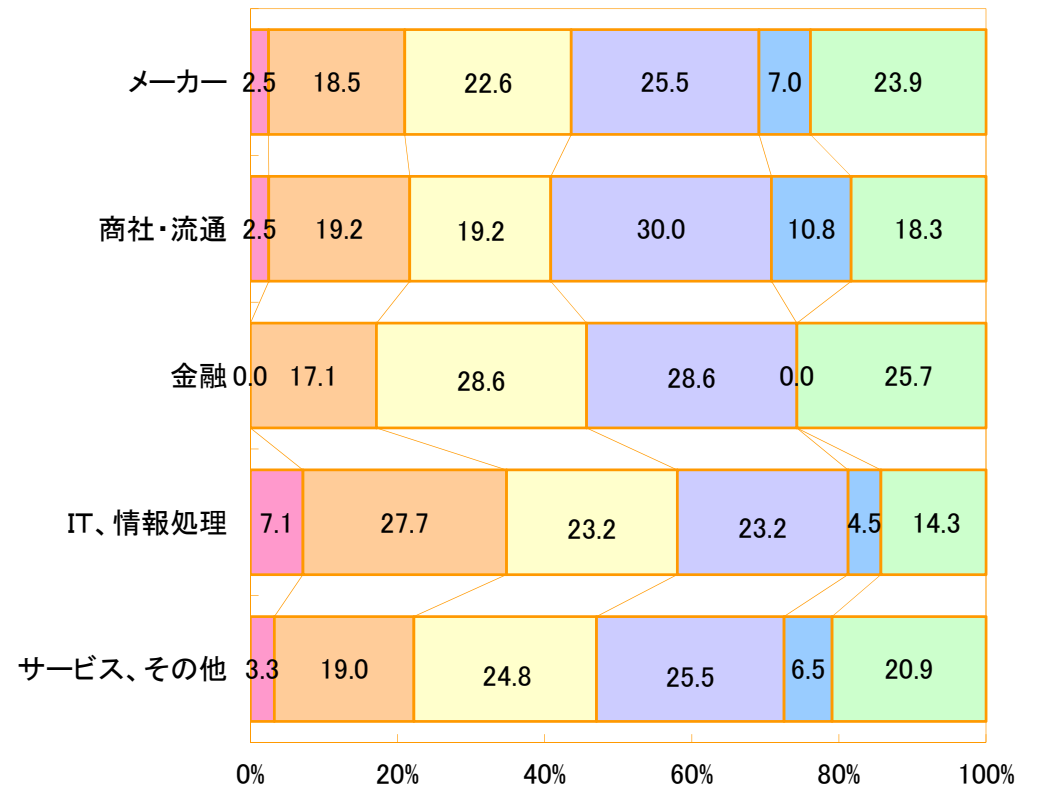
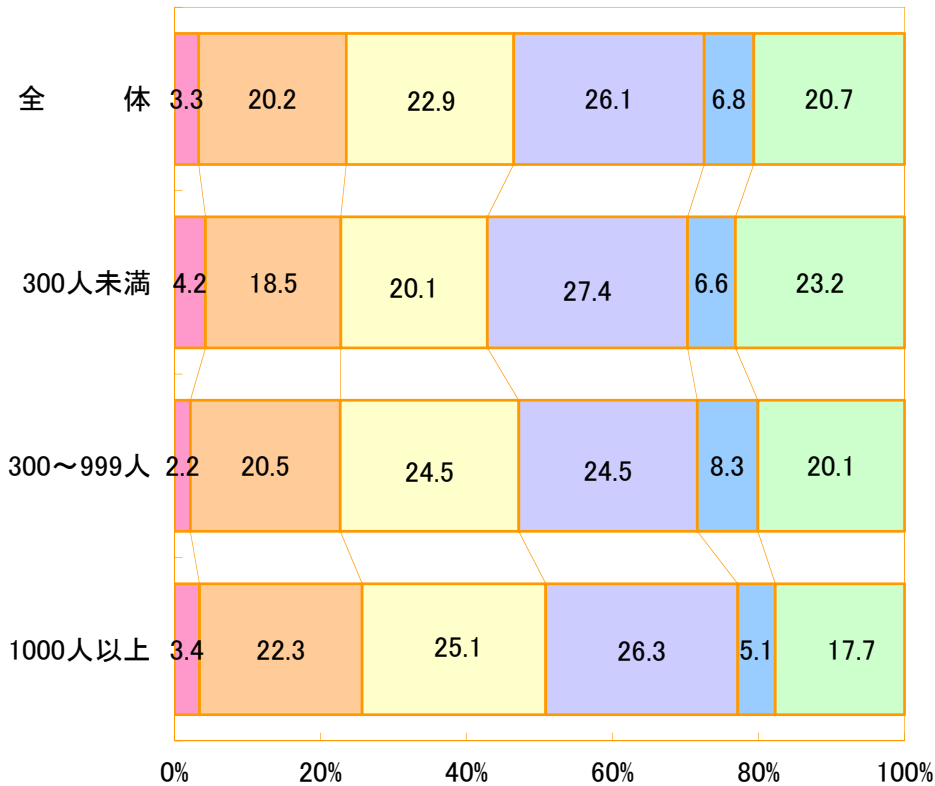


Q 現時点で、前年同時期と比較して学生の反応に変化はありますか。それぞれあてはまるものをお選びください。  
 ※「大幅に増えた／減った」は、概ね3割以上の増減を目安にお選びください。

# 現時点での学生の反応(前年との比較) < 自社セミナー参加者数 >

- 自社セミナーへの参加者数は、「減った」(計32.9%)が、「増えた」(計23.5%)を9.4ポイント上回る。
- 「減った」が多いのは、「300人未満」(計34.0%)、「商社・流通」(計40.8%)。

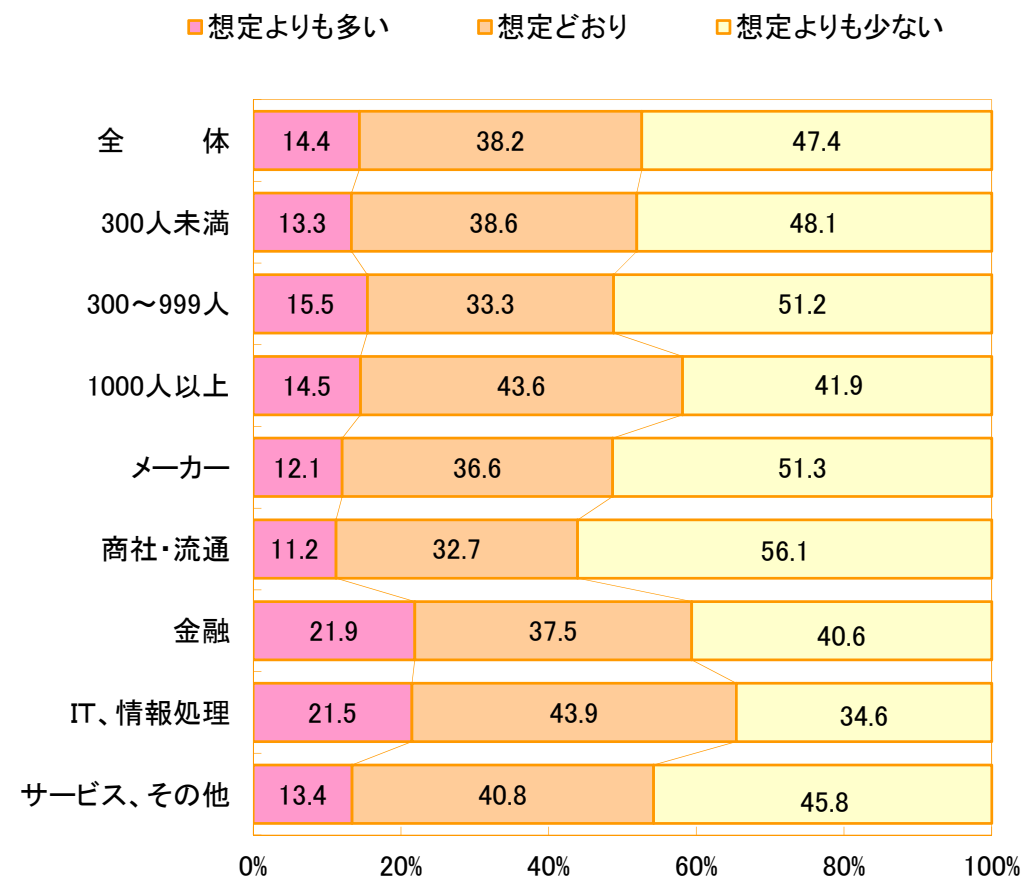
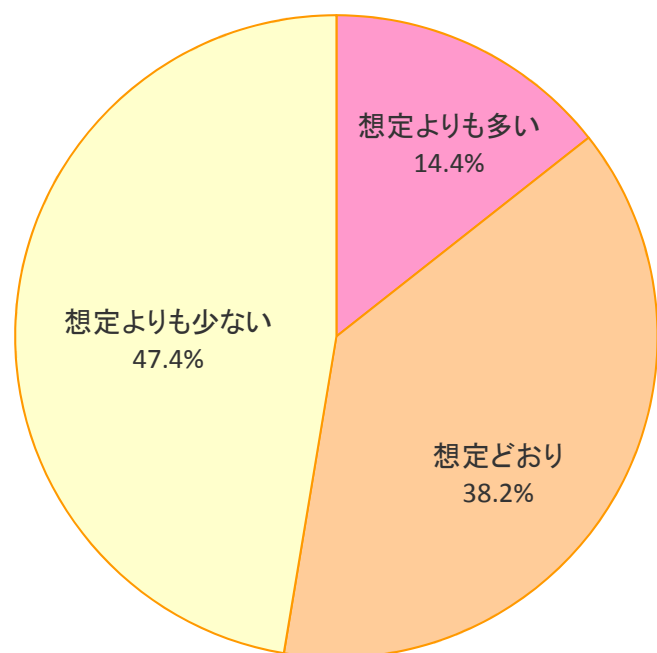
■ 大幅に増えた  
 ■ 増えた  
 ■ 変化なし  
 ■ 減った  
 ■ 大幅に減った  
 ■ まだ実施していない／わからない



Q 現時点で、前年同時期と比較して学生の反応に変化はありますか。それぞれあてはまるものをお選びください。  
 ※「大幅に増えた／減った」は、概ね3割以上の増減を目安にお選びください。

## 母集団形成状況(想定との比較)

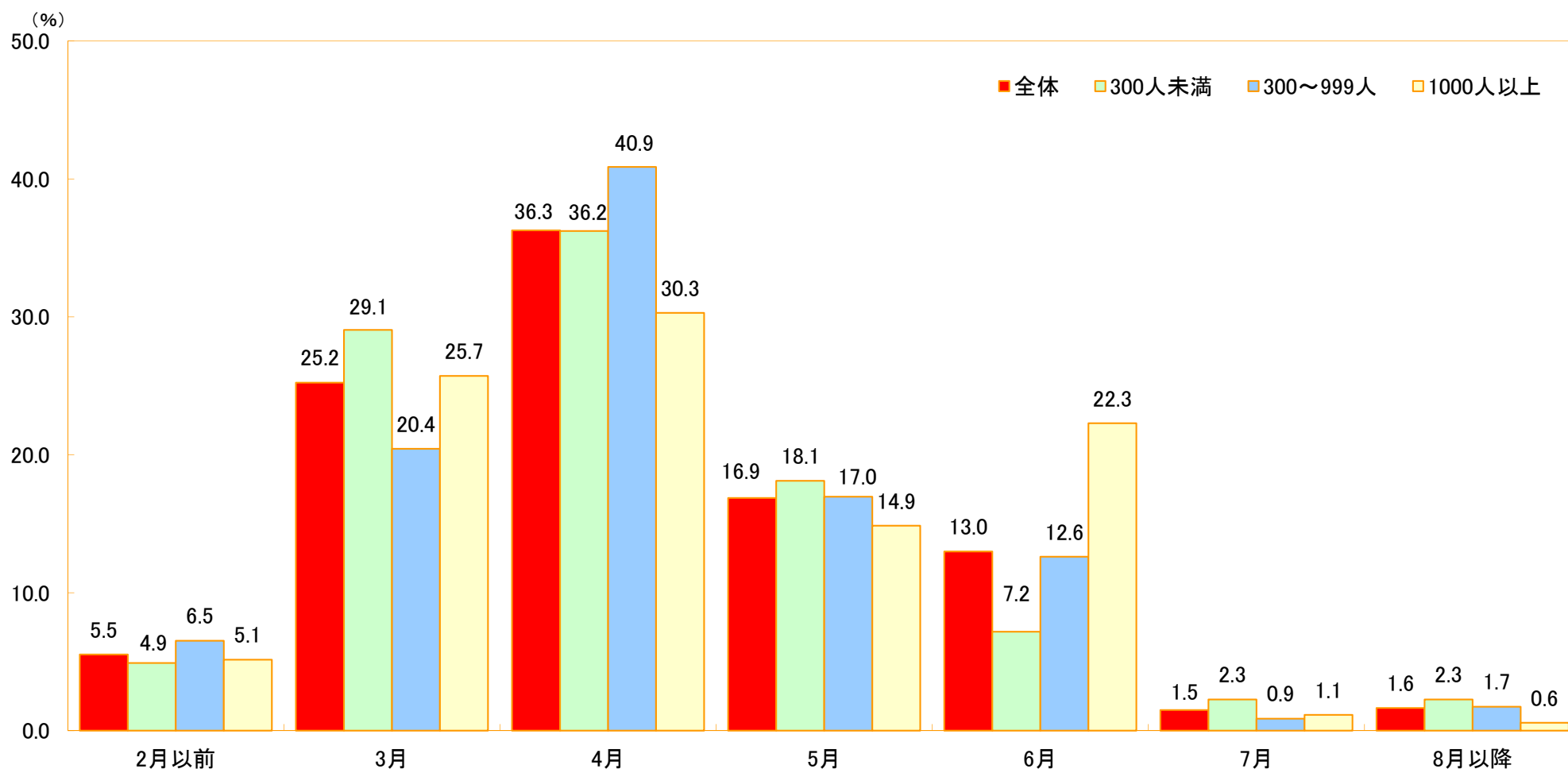
- 現状の母集団は「想定よりも少ない」が約半数(47.4%)。
- 「想定よりも多い」は「金融」が最多(21.9%)、「想定よりも少ない」は「商社・流通」が最多(56.1%)。



Q 現時点での母集団は、想定していた数より多いですか、少ないですか。あてはまるものをお選びください。

## 選考(面接)開始時期<全体・規模別>

- 面接の開始時期は、4月(36.3%)が最多。6月以降の面接開始は合計2割未満(16.1%)に留まる。
- いずれの規模でも4月開始が最多。但し、「1000人以上」では6月開始も比較的多い(22.3%)。

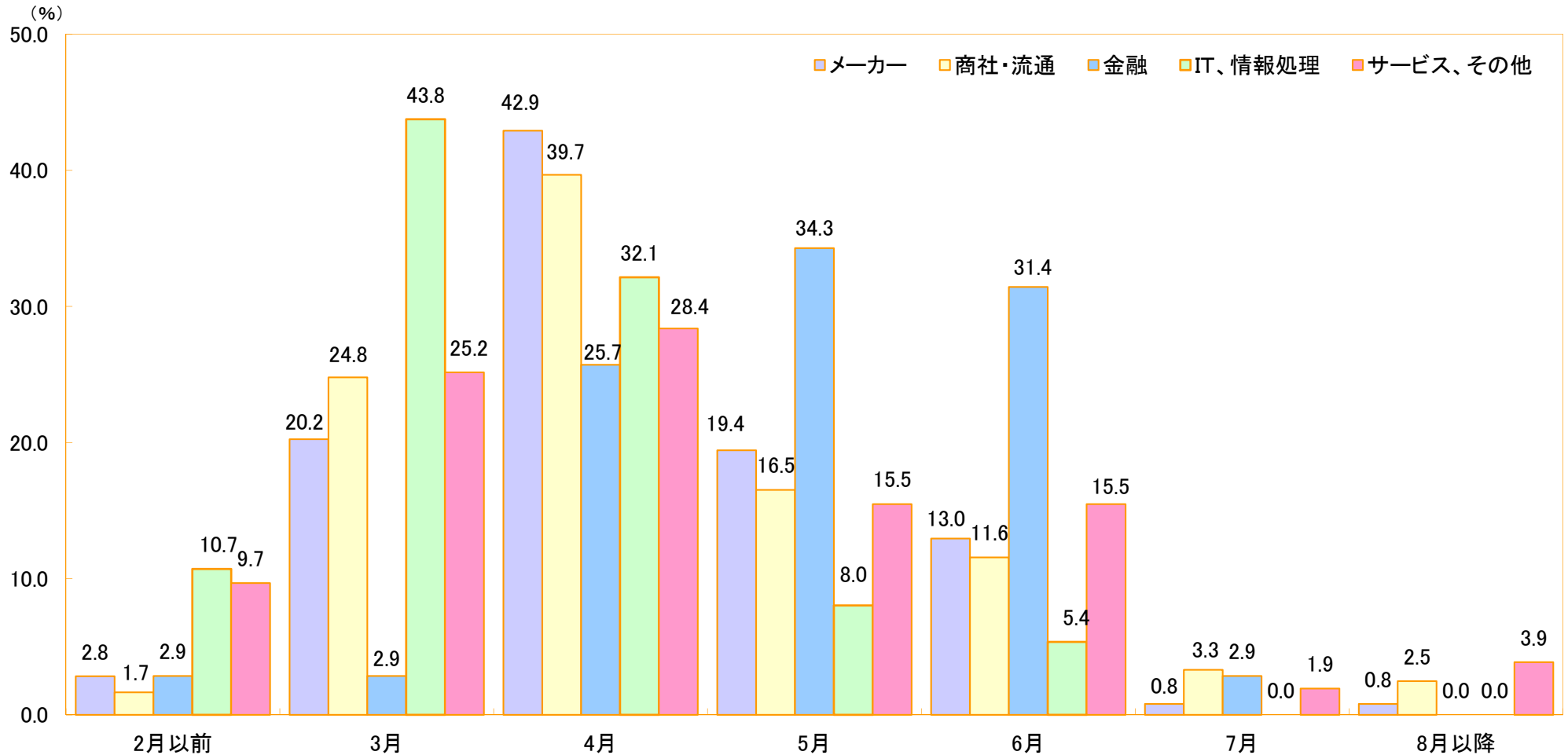


Q 選考(面接試験)の開始時期をお選びください。予定も含めてご回答ください。



## 選考(面接)開始時期<業界別>

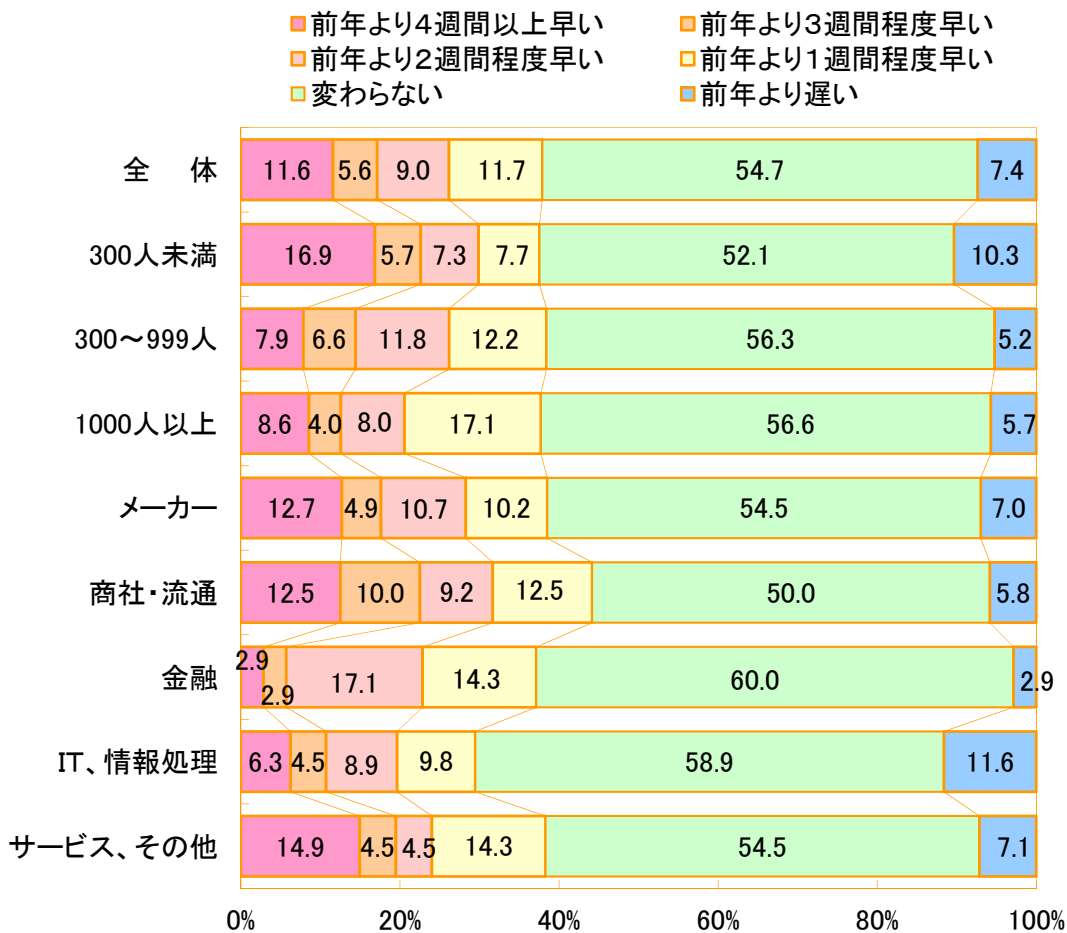
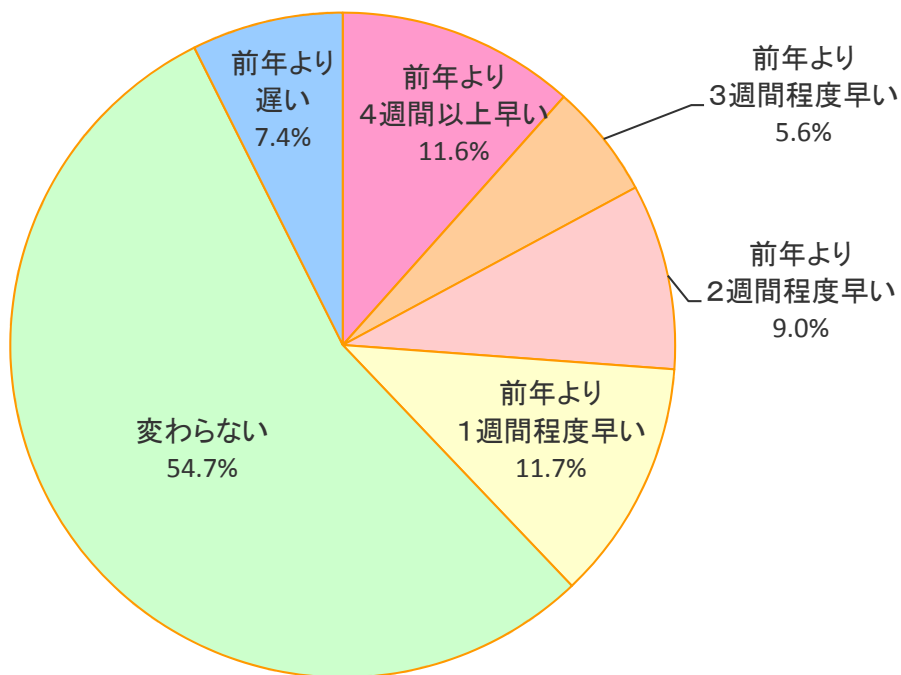
- 「IT、情報処理」は3月に集中(43.8%)。「メーカー」「商社・流通」は4月に集中。
- 「金融」は5月開始が最多(34.3%)、6月開始も3割を超える。「サービス、その他」は分散傾向。



Q 選考(面接試験)の開始時期をお選びください。予定も含めてご回答ください。

# 選考(面接)開始時期の変化

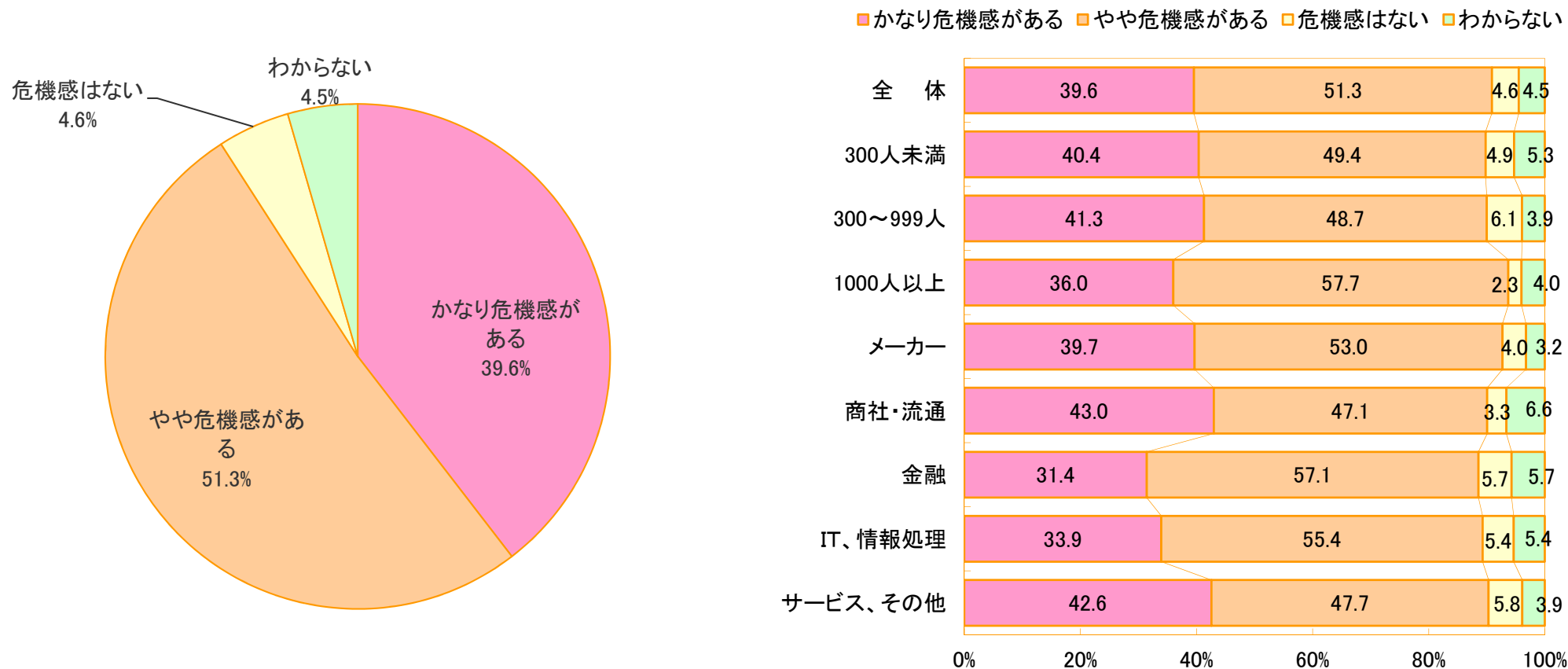
- 選考開始時期が「前年より早い」は約4割(37.9%)。「遅い」は7.4%にとどまる。
- 「300人未満」では「4週間以上早い」が多く(16.9%)、「1000人以上」では「1週間程度早い」が多い(17.1%)。



Q 前問で回答した面接開始時期は、前年と比べて早いですか、遅いですか。あてはまるものをお選びください。

## 自社採用活動への危機感

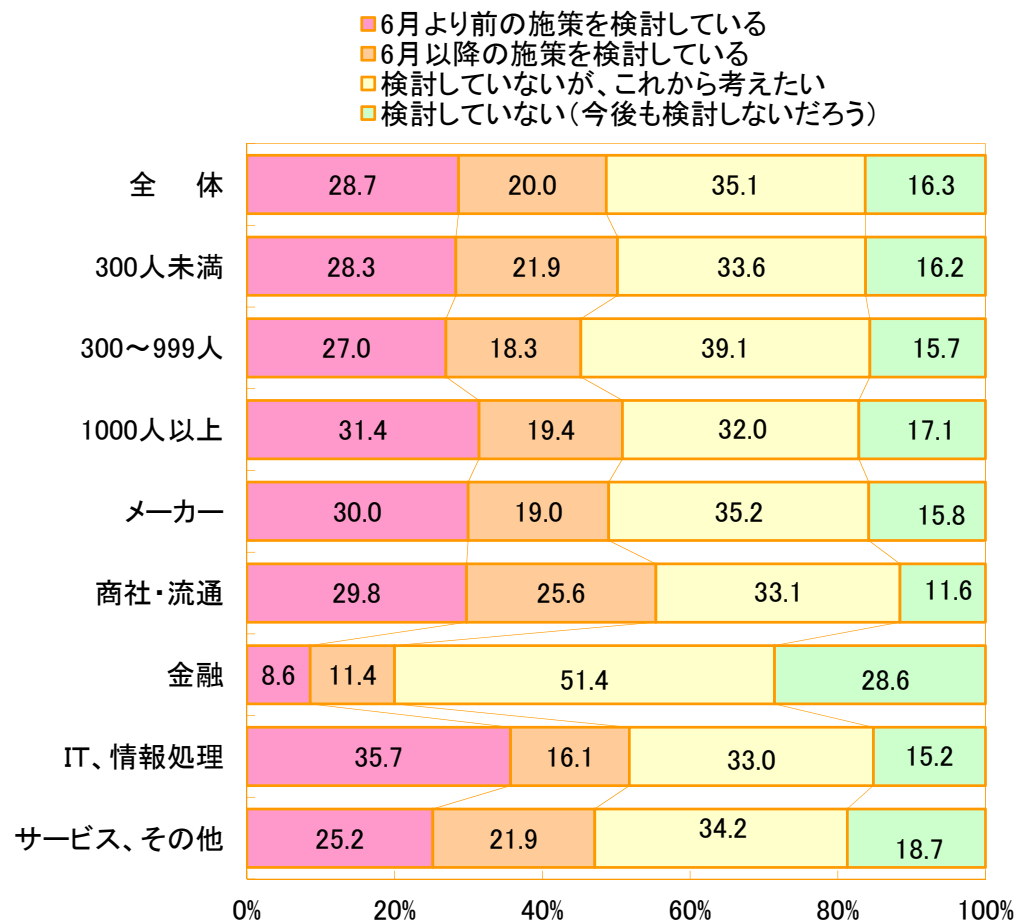
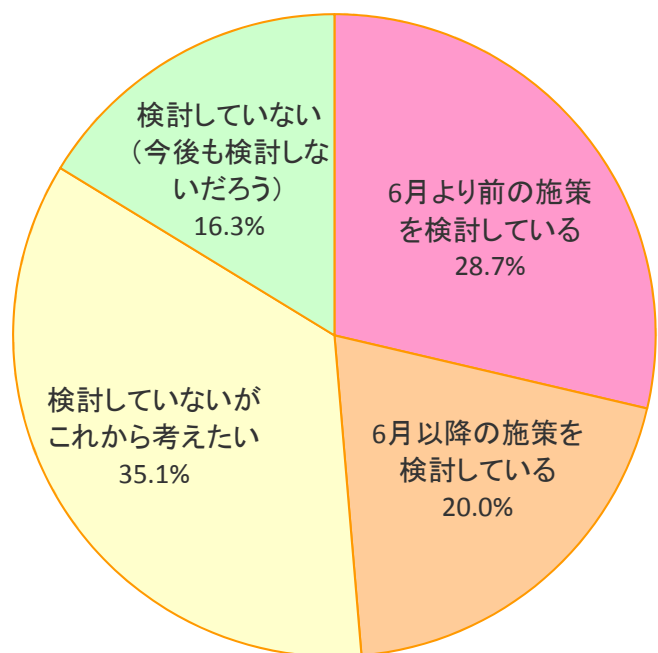
- 現状を踏まえ、自社の採用活動に危機感を持つ企業が9割超(計90.4%)。「1000人以上」で計93.7%。
- 「かなり危機感がある」は「商社・流通」で最多(43.0%)、次いで「サービス、その他」(42.6%)。



Q 今年の戦線を踏まえ、自社の採用活動に危機感がありますか。(1つだけ)

# 7 追加母集団形成の予定

- 約半数(48.7%)が早くも追加母集団形成施策を検討中。「6月より前の施策」が約3割(28.7%)に上る。
- 「商社・流通」、「IT、情報処理」は過半数が追加施策検討。



Q 貴社では追加の母集団形成を検討していますか。(1つだけ)

## 現時点で、貴社の採用活動の感触はいかがですか。

### ■「大変順調」「順調」と回答

- ・エントリーは昨年比で増加しており、インターンシップの取組強化により志望の高い学生を囲い込んでいるため。 <1000人以上／メーカー>
- ・採用チャネルを増やし、母集団形成が想定通りのため。 <300人未満／サービス>
- ・合説やナビサイトからの個別の説明会やイベント、選考等へ予約率が昨年より向上している。 <300～999人／サービス>
- ・エントリーは昨対比200%程度で推移しており、説明会の出席率も昨年より高い。 <300人未満／商社>
- ・説明会はほぼ満席の申し込みがあり 欠席者も非常に少ない。 <300～999人／商社>
- ・想定以上の優秀層が想定を大幅に上回る人数でエントリーしている。既に内定承諾者も出ている状況。 <300人未満／IT、情報処理>
- ・エントリー者が昨年度に比べて増加しており、一部の学生は二次面接まで終了している。 <1000人以上／メーカー>

### ■「どちらでもない」と回答

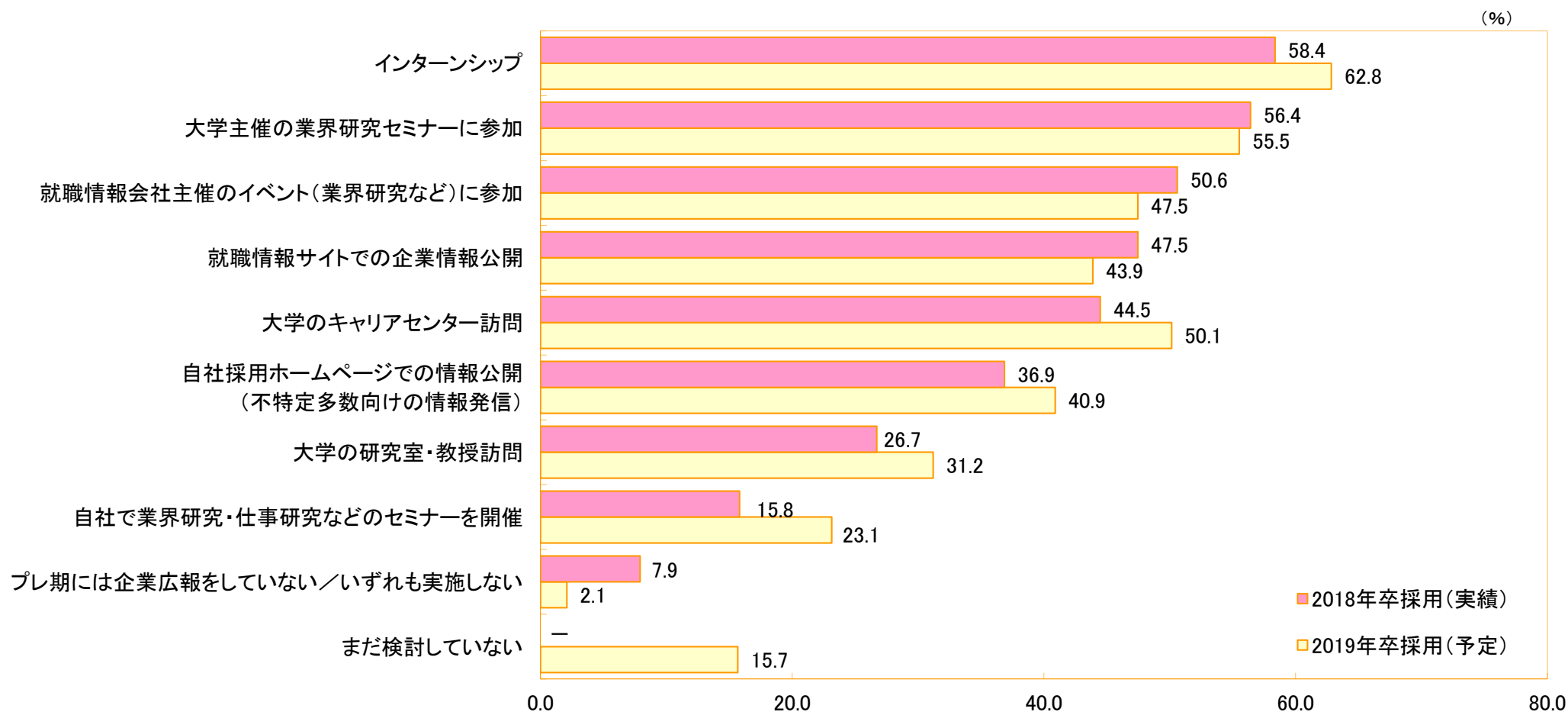
- ・3月までの母集団は質・量共に問題なく、順調そのものであったが、3月以降は思った以上に質・量が悪化。 <300～999人／IT、情報処理>
- ・採用活動の開始時期を早め、学生のエントリーはあるが、内定に至るかは不明である。 <300人未満／メーカー>
- ・説明会への参加数は順調も学生の質が伴わない。 <1000人以上／サービス>
- ・初動を早め、一定の効果はあるものの結果にはまだ結びついていないため。 <300人未満／流通>
- ・元々応募者が少ない業界だが、インターン等含め本当に応募したいと思っている学生が来てくれている。 <300～999人／サービス>

### ■「大変苦戦」「苦戦」と回答

- ・昨年より採用活動に人員と費用を増やしているがエントリーが思うほど伸びない。 <300人未満／サービス>
- ・合同説明会での学生確保はできているが、会社説明会への繋がりが悪いため。 <300～999人／サービス>
- ・理系はプレエントリーが下がってきており、特に機電系でその傾向が顕著。中には3月前から内定を持っている学生もおり、採用がかなり厳しい。 <5000人以上／メーカー>
- ・インターンシップに行った企業群に絞ってる学生が多く、興味付けに苦戦している。 <300人未満／商社>
- ・会社説明会に人が集まらない。会社説明会に参加してくれても、その後選考に進む人が少ない。 <300～999人／IT、情報処理>
- ・当初計画した学生の集客が図れていないため。また、学生の志望度合いについても、思うような感触が得られていない。 <300～999人／商社>
- ・各社選考が早く、合説はブース訪問は好調だったが、会社説明会の動員が伸びない。 <1000人以上／流通>
- ・3月は大企業が説明会を開いていることもあり、中小企業にはなかなか来ない。また、内定(内々定)をもらったとしても、夏くらいまでは就職活動をする学生が多い。 <300人未満／メーカー>
- ・早期から動く学生は他社比較が多く、自社への志望度が低い。取りあえず選考に参加している、という感じ。 <300人未満／IT、情報処理>
- ・内定辞退の学生が増えてきている。 <1000人以上／流通>

## プレ期施策の実施状況(18年卒向け)／検討状況(19年卒向け)

- 18年卒向けには、9割以上がプレ期に何らかの施策を実施した(92.1%)。
- 最も多いのは「インターンシップ」(58.4%)。19年卒向けではさらに増加見込み(62.8%)

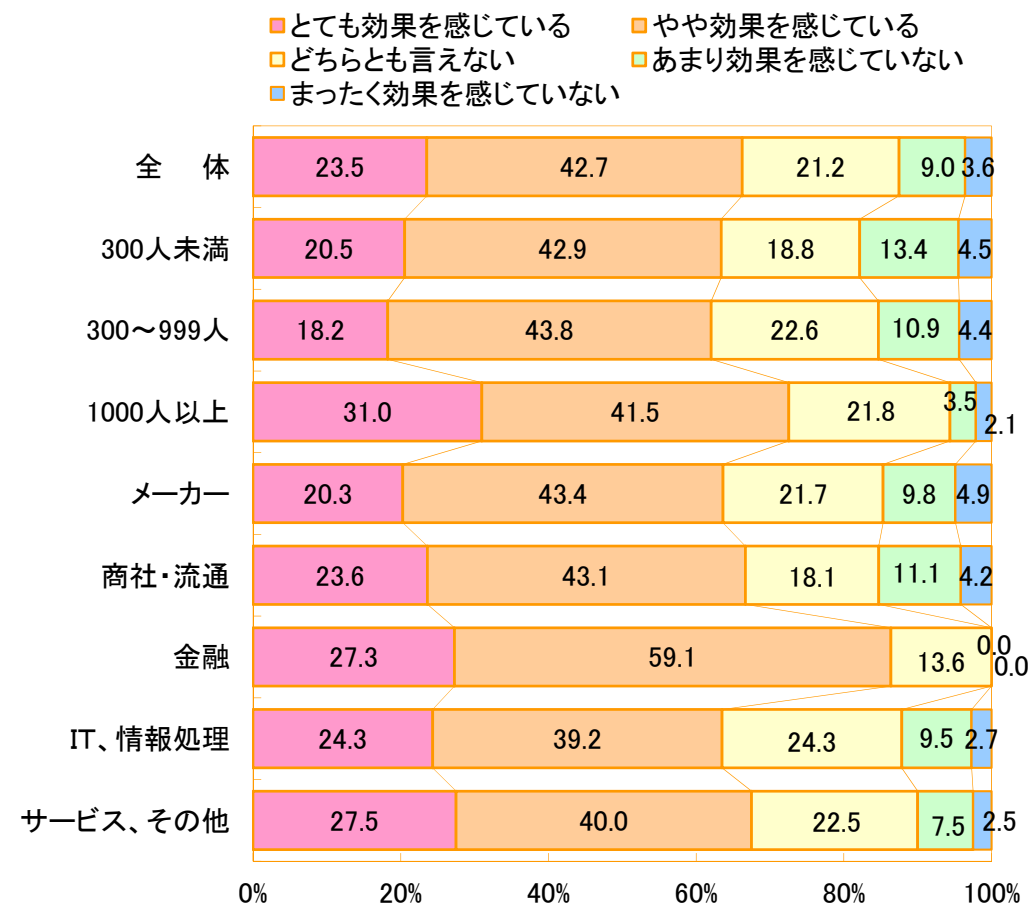
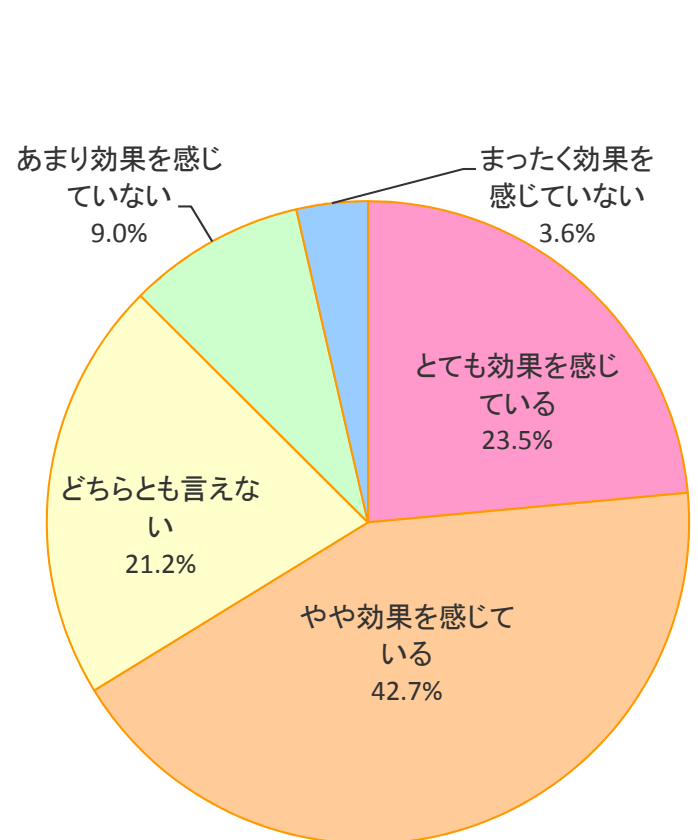


Q 2018年卒採用において、貴社がプレ期(3月より前)に実施したものを、すべてお選びください。

Q 2019年卒採用において、貴社がプレ期(3月より前)に実施を検討しているものを、すべてお選びください。

# インターンシップの採用母集団形成への効果

- インターンシップを実施したことで採用母集団形成への効果を感じている企業は、6割超(計66.2%)。
- 効果を実感している企業が多いのは、「1000人以上」(計72.5%)、「金融」(計86.4%)。

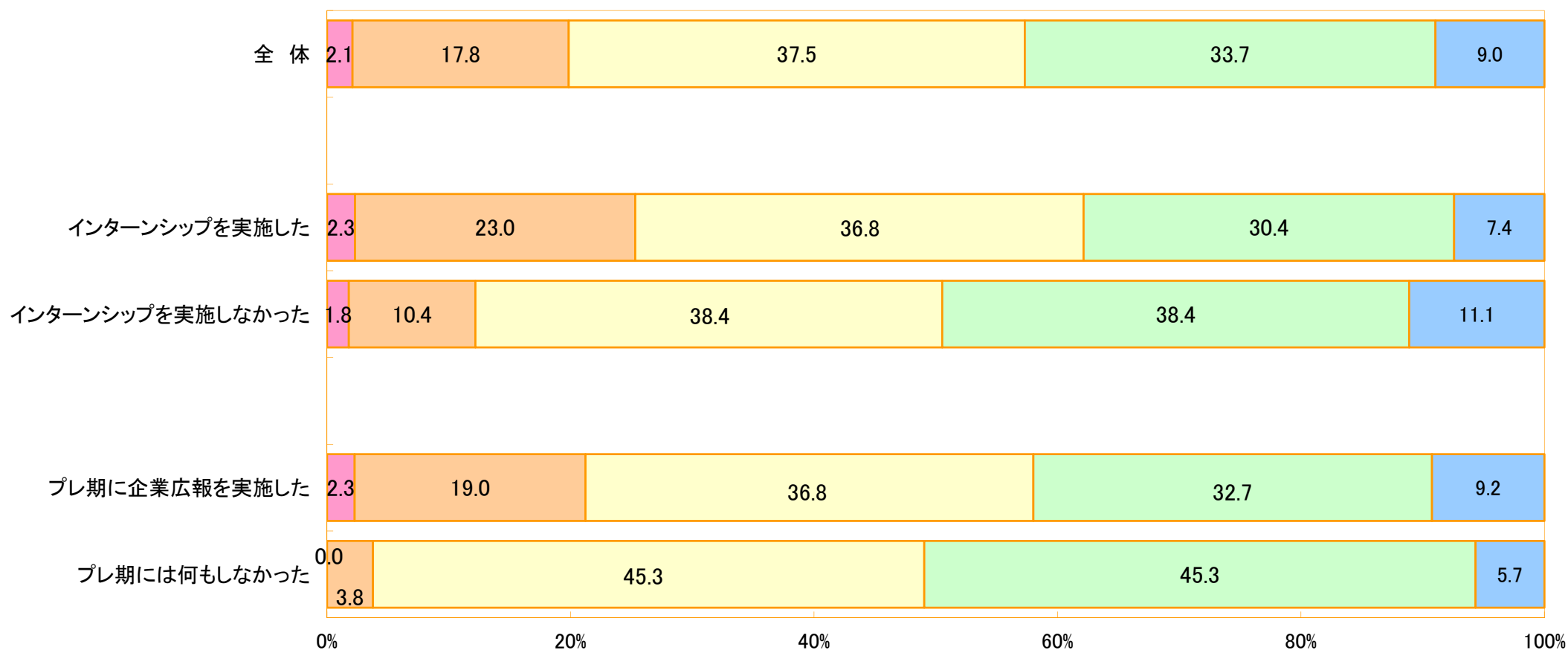


Q インターンシップを実施したことで「採用活動のための母集団形成」に効果を感じていますか。

## 現時点での採用活動の感触＜プレ期施策有無別＞

- 現時点での採用活動の感触を、プレ期施策の実施有無別で比較すると、「順調」との回答は、インターン実施企業で高い(計25.3%)。プレ期には何もなかった企業では「苦戦」が過半数(計51.0%)。

■ 大変順調である  
 ■ 順調である  
 ■ どちらでもない  
 ■ 苦戦している  
 ■ 大変苦戦している



Q 2018年卒採用において、貴社がプレ期(3月より前)に実施したものを、すべてお選びください。

Q 現時点で、貴社の採用活動の感触はいかがですか。